

意見・質問一覧と回答

	質 問	回 答
(4)	従来に比べて凍土形成量が非常に大きく稼働期間も長い ため、スケールアップ、長期間安定性をどのように実現し、 どのような問題点を想定しているのか。	凍土形成量は大きいですが、凍結プラント等の 設備数を増やすことで対等が可能です。 長期間の安定性は定期的に点検を実施し、必 要に応じてメンテナンスや交換を行い運用しま す。
(5)	凍土壁の完成後は、地盤の沈み込み、RB / TB建屋の沈 下、地下水位、地下水流の予測と監視はどのように行わ れ、その情報は県民に公開されるのか。	地盤の沈下に関しましては、第22回特定原子 力施設監視・評価検討会で説明する予定です。 今後、凍土壁の効果につきましても丁寧に説明 を行ってまいります。
(6)	システムの停電対策、冷媒循環系のリーク、火災や大雨な どのトラブル対策は十分か。	停電対策は電源の多重化で対応します。 冷媒循環系のリークは、漏洩を検知できる仕 組みとし、速やかに復旧します。 火災に対しては、消防法、建築基準法、高圧 ガス保安法等の関係法令に準拠します。 大雨で地中にある凍土壁が融解するなどの 問題は生じません。
(11)	開発要素も大きいことから、想定されるトラブルとそれによ り予想される悪影響	想定されるトラブルとそれによる影響評価、対 策につきましては、第21回特定原子力施設監 視・評価検討会の資料で『異常時の影響評価』 としてまとめております。
(13)	地盤や地層の不均一性について、どこまで把握し、それが 凍土遮水壁の効果にどのような影響を与えるか把握してい るのか。不均質で風化した地盤や地層に対しても十分な効 果があるのか。	凍土遮水壁を構築する範囲で11箇所の追加 調査実施して地層確認を実施しております。凍 土壁の効果は、実証試験で十分な凍結が進ん でいることを確認しております。
(14)	富岡層の亀裂や乱堆積構造・生痕化石の存在が、地下水 の"水みち"になることは十分に考えられ、こうした亀裂や構 造にも凍土遮水壁は効果があるのか。	ご指摘のような特性を有する現地地盤におい ても、凍結が可能であることを実証試験で確認し ております。
(15)	未風化の泥岩中に黄鉄鉱が存在する場合、それがパイプ 等の設置工事により空気に触れて酸化すると黄鉄鉱が分 解して強酸性の土壌や水を形成することがあるが、過去の 調査研究を踏まえた調査や対策が行われているのか。	震災前から発電所敷地で実施していたボーリ ング調査などにおいて、強酸性の土壌や水は確 認されておられません。
(16)	凍土遮水壁を設置した場合、適切な地下水位の管理や地 盤沈下・地盤変状の防止をどのように行うのか。また、凍土 遮水壁が長期にわたり機能しているかどうかの監視をどの ように行うのか。	現在、原子力規制庁の検討会で専門家の皆様 にご確認を頂いております。 凍土壁の長期運用については、地中温度や地 下水位で監視してまいります。